



加茂川中学校だより2018

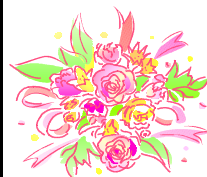


京都市立加茂川中学校
平成31年3月14日(木)

第15号 祝・卒業！

文責：校長 太田勝

3年生のみなさん



卒業おめでとうございます



9年間の義務教育を終えるみなさん、卒業と新たな旅立ち、おめでとうございます。クラス発表からはじまった最後の1年。5月の修学旅行では「和輝愛哀 平和が一番うれしいさー」のテーマを掲げ、3日間は快晴の下で平和の尊さと人の温かさにもふれました。6月の体育大会当日の朝は水たまりがいっぱいの状態でした。みんなと先生達が一緒になって「水取り」をしましたたね。1時間遅れの体育大会でしたが、みんなが一つになって応援する姿が印象的でした。その10日後、大きな揺れが大阪・京都を襲いました。当日は休日参観の「代休日」でしたから、学校には生徒はいませんでした。本当に心配しました。夏休みが明けて紫風祭・合唱コンクールと、大きな行事の一つひとつが、中学校生活最後の行事となっていきました。加茂川中学校らしく、個性豊かに紫風祭を盛り上げ、思い出の花を咲かせてください、という思いを込めた「百花繚乱 紫風祭」というテーマは、今も生徒用玄関に掲げられています。9月には台風21号の直撃を受け、今までに経験したことのないほどの暴風雨が京都を襲いました。台風一過の次の日は、1・2年生が清掃活動に取り組んでくれたおかげで、大きな混乱もなく、授業をはじめることができました。そんな1・2年生徒ともお別れです。昨日の「送る会」が、全校生徒が集まる最後の機会となりました。明日、いよいよ中学校生活最後の卒業式を迎えます。



卒業生の保護者の皆様へ

お子様のご卒業、本当におめでとうございます。ここまで大きく育てられ、義務教育を無事終わられたことに敬意を表します。

義務教育の期間は人の一生でも最も大切だと言われています。手をつないで一緒に歩いた幼い頃。いつもぎゅっと握りしめていないと不安そうだった子どももいつしか手をつながずとも歩くようになり、中学校に入学する頃には親の手を離れていく寂しさと頼もしさを感じられたこともあったのではないのでしょうか。子どもが大きくなるにつれ、「目や手は離れても心は離さず」という心がけが親には必要で、それこそが子どもの「自立・自律」につながると思います。

まだまだ子育て真っ最中の皆様のご多幸を心よりお祈りいたします。

これまで本校教育にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

教職員一同

1・2年生の皆さんへ！ 振り返りと、来年度への準備を！！

まもなく1年が終わります。学年でもクラスでも、そして一人ひとりの個人としても、この1年はどうでしたか？自分自身の変化や成長は感じられましたか？とにかく、たくさん思いつくことが大事だと思います。自分を客観的に見ることができるようになることが大人への成長（自立・自律）につながっていきます。3年生が卒業した後は、この学校は君たちが中心となります。新しく入ってくる新入生にとって「あこがれ」の存在となってくれることを期待しています。

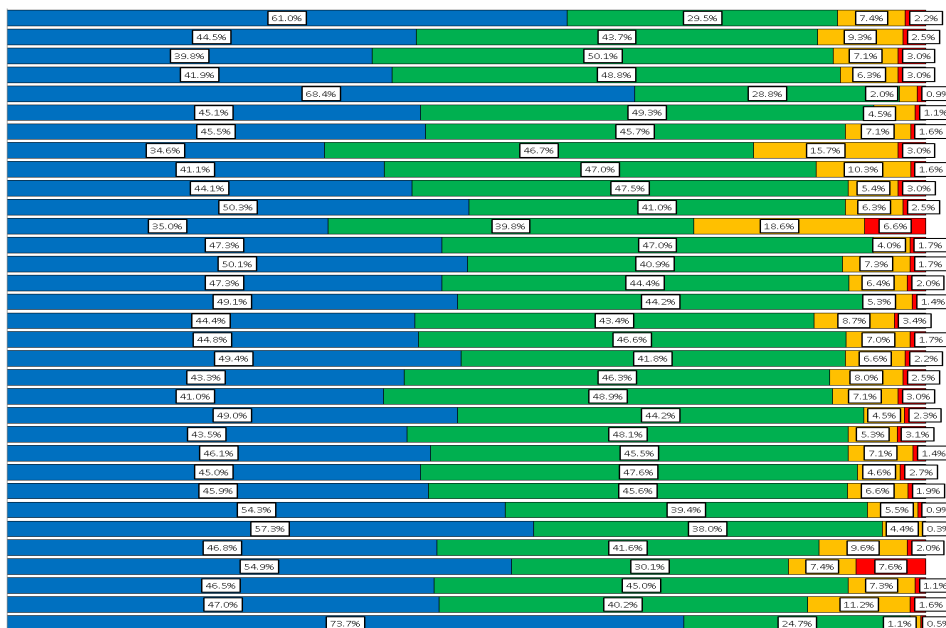


学校評価アンケート（後期）より

平成30年度 後期学校評価 全校生徒

■ 適合度 そう思う ■ 適合度 大体そう思う ■ 適合度 あまりそう思わない ■ 適合度 そう思わない

自分は学校に楽しく通っている。
学校では、不審者や地震・火災・水害に備えていると思う。
学校では、美化活動や整理整頓心がけられていると思う。
学校では、危険な箇所や破損物の点検・改修・整備に努められていると思う。
授業では、学習のめあて（目標）などが示されている。
授業はわかりやすく、工夫されている。
先生は、学習上の質問にわかりやすくいねいに答えてくれる。
自分は授業の中で、満足感や達成感を持つことができている。
教科で学習したことが、身につけてきたと思う。
先生は、自分の学力や、努力していることを適切に評価してくれる。
観点別評価や評定の意味について理解できている。
自分は、家で自主的に学習や読書をしている。
自分は、国語の学習をがんばっていると思う。
自分は、社会の学習をがんばっていると思う。
自分は、数学の学習をがんばっていると思う。
自分は、理科の学習をがんばっていると思う。
自分は、音楽の学習をがんばっていると思う。
自分は、美術の学習をがんばっていると思う。
自分は、保健体育の学習をがんばっていると思う。
自分は、技術の学習をがんばっていると思う。
自分は、家庭の学習をがんばっていると思う。
自分は、英語の学習をがんばっていると思う。
自分は、総合的な学習をがんばっていると思う。
先生は、生徒のよいところを適切に評価し認めてくれる。
先生は、生徒の間違った行動を適切に注意してくれる。
先生は、困ったときに親身（しんみ）になって相談に応じてくれる。
学級や集団づくりを通して、人間関係や役割の大切さを感じている。
自分は、学校生活の決まりや約束を守って生活している。
自分には、生徒会活動や学級活動でがんばれる場がある。
自分は、部活動でがんばれる場がある。
自分は、進んでいざをしている。
自分のことを自分で大切にできていると思う。
他者への思いやりの心を持つことは、とても大切だと思う。



1月に実施した「学校評価・生徒アンケート」を集計し、校内はもちろん、3/8に実施した学校運営協議会でも内容を共有しました。このアンケートは、主に学校生活・学習についての内容です。どの項目についても肯定的な回答が目立ちますが、学校生活の基本となる4項目で昨年度（28年度）・昨年度（29年度）・今年度（30年度）の後期評価で「そう思う」（強い肯定回答）のポイントについて比較をしてみました。（上の表 参照） アンケート結果からは、強い肯定回答が上昇の傾向にあることがわかります。特に「授業のわかりやすさ」、「教員の適切な評価・認めてくれる」の項目については、前年度を大きく上回りました。また、「家での自主的な学習や読書」についても、肯定的な回答のポイントは他と比べると低いものの、平成30年度の前期との比較では6.4、5%（前期）→7.4、8%（後期）と改善の様子がみとれます。今後、指導の工夫・改善はもとより、教育活動全般の一層の充実にも努めてまいります。

【生徒アンケートの「そう思う」の経年変化】

	H28年度	H29年度	H30年度
学校に楽しく通っている	57.1%	61.4%	61.0%
授業はわかりやすく工夫されている	33.2%	38.8%	45.1%
先生は生徒の良いところを適切に評価し、認めてくれる	32.6%	38.7%	46.1%
他者への思いやりの心をもつことは、とても大切だと思う	72.4%	72.7%	73.7%

◆学校評価アンケートの集計のグラフはホームページにも掲載しています◆